

最新機能と用途で選ぶ

Photo : Nakamura Tohru

ホームページ作成ソフト 購入ガイド

ホームページ作成ソフトの新製品が続々と登場して、以前にも増して多機能化が進んでいる。タイトルロゴやボタンなどの画像の作成機能やホームページを構成するファイルの管理機能、ファイルのアップロードをするFTP機能など、これまで別のソフトで行っていた作業がホームページ作成ソフト1本だけで済むようになった。また、それと同時に個人ホームページ向けやイントラネット向けなど、1つの用途に特化したものも増えてきた。今回は各社の製品の特徴を見て、ユーザーの用途別に最適なソフトを探してみたい。

山田貞幸

ホームページ作成ソフトの 3つの流れ

ホームページ作りに必要なものはたくさんある。中心となるHTML編集機能はもちろん、画像作成機能、サイト管理機能、素材集、ホームページのテンプレートなどだ。現在のホームページ作成ソフトは、これらの周辺機能をほとんど統合してお買い得感の高いものが主流になっている。まったくの初心者でもすぐにホームページ作りを始められる。

一方で、なんでもかんでも揃ってはいけいわけではないと考えるユーザーもいる。必要な機能さえしっかりしたものがあれば、画像加工などの周辺機能はほかの専用ソフトを持って

いるため必要ないというユーザーだ。まだ少数派ではあるが、こういったユーザーに向けて作られているホームページ作成ソフトもある。このようなユーザーはさらに2派に分かれる。ホームページ作りを主に「実用」的な視点から捉え、イントラネットでの利用やデータベースなどの統合に主眼を置くユーザーと、主に「デザイン」的視点から捉え、美しいデザインの作成に主眼を置くユーザーだ。

今回は、現在店頭で販売されているホームページ作成ソフトを3つに分類し、それぞれのタイプに合わせた製品選びのコツを紹介しよう。



用途で決める ホームページ作成ソフトの選び方

各ソフトの評価をする前に、まずは自分がどのようなタイプのホームページ作成ソフトを必要としているのかを把握しておこう。多くの場合は多機能な「個人ホームページ作成向け」で事足りるだろうが、環境や目的によっては「イントラネット向け」や「デザイン重視向け」を選んだほうがよい場合もある。下の図を参考にして、自分が必要とするソフトはどのタイプのものなのかを検討してほしい。

はじめてホームページを作る人には、画像編集機能やFTP機能、ファイル管理機能など、必要な機能がひとつとあり揃ったソフトがおすすだ。クリップアートなどの素材集が付属しているとさらに便利だろう。すでにホームページを持っている人は、今後ホームページが大きくなることも考えてファイル管理機能の充実したものを選ぶといいだろう。また、ダイナミックHTMLやスタイルシートなど、最新のHTMLに対応したソフトを使えばデザインや仕掛けに凝ったホームページを作ることだってできる。さらに、個人ホームページ作成向けのソフトは価格も実売で1万円前後と非常に手ごろだ。

個人ホームページ派

個人ホームページ派

P.224へGO!

イントラネット派

P.227へGO!

デザイン重視派

P.230へGO!



イントラネット派

個人ホームページはほとんどの場合1人で作業するし、時間的な制約もない。しかし、共同作業で作ることが多いうえに時間的な制約もあるイントラネットの場合はいかに効率よく作るかが重要になる。この点からソフトを選ぶと、複数の人でページの作成ができるような高度なファイル管理機能やホームページのテンプレートなどが付属しているものがよいだろう。また、社内の情報を有効に利用できるようなデータベースとの連携機能も重要なポイントとなる。もし、社員が使うWWWブラウザやプラットフォームが統一されているなら、ダイナミックHTMLやスタイルシートを駆使したインタラクティブで使いやすいページを作ることも可能になるので、最新のタグに対応したものを選びたい。

デザイン重視派

自分の思いどおりのレイアウトでホームページを作成したいというデザイン重視派は、スタイルシートや独自の方法で文字や画像を好きなところに配置できる機能を持っているソフトを選ぼう。今回このタイプに分類したソフトは実売でも3万円前後と価格も高く、マクロメディア社のDreamweaverなどは「プロのデザイナー向け」と明確に方向付けられている。そして、プロフェッショナル向けだからというわけではないだろうが、それぞれにクセが強い。しかし、インターフェイスもいわゆるプロ向けのDTPソフトやフォトタッチソフトと似ているため、ユーザーによっては非常に使いやすいものと感じられるだろう。ただし、WWWブラウザごとの互換性なども無視できないため、各ソフトがどんなHTMLを生成するのかをチェックしたほうがよいだろう。



個人ホームページ派はここをチェック!

個人ホームページ派はファイル管理機能や画像作成機能、最新のタグ、素材集など、とにかくいろいろな機能が充実している製品を選びたい。それは、別に専用のツールや素材集などを用意しなくても、ホームページ作成ソフト1本だけでホームページにいろいろな機能を盛り込めるからだ。

基本機能をチェック

WYSIWYGでのホームページ編集、ドラッグアンドドロップでの画像の貼り込み、英文のスペルチェック、ファイルの管理にファイルのアップロードなど、基本的な機能は現行ソフトならたいい備えている。この点ではどのソフトを選んで大差はない。ただ、使い勝手などは人によって好き嫌いが分かれるところなので、CD-ROMに収録した体験版や試用版を実際に使ってみて判断してほしい。

ダイナミックHTMLをチェック

基本機能が拮抗している中で、一歩抜け出すために各ソフトが搭載し始めているのが「ダイナミックHTML」だ。スタイルシートとスクリプトの組み合わせで、画像がページ上を動いたり、ユーザーからの入力に反応してページの内容が書き変わったりと、動きのある楽しいペー

ジを作ることができる。WWWブラウザの互換性も以前よりは考慮されているので、いま買うならダイナミックHTMLに対応した製品を選びたい。

グラフィック機能をチェック

デジタルカメラで撮影した写真の加工やオリジナルロゴの作成など、ホームページを作るためにはグラフィックソフトは欠かせない。しかし、グラフィックソフトの価格はいまだに高価なものが多い。もしグラフィックソフトを持っていないなら、画像の編集機能の充実したホームページ作成ソフトを選ぼう。もちろん10万円もするようなグラフィックソフトと比較すると見劣りはするだろうが、画像の加工を楽しむには十分だ。加えてたくさんの素材画像やテンプレートが収録されていれば、もう言うことはないだろう。

評価基準

基本機能...ドラッグアンドドロップで文書や画像を配置できるか、画像編集機能はあるか、FTP機能はあるか、素材集は付属しているかを基準に3段階で評価。

ダイナミックHTML...インターネットエクスプローラ専用またはネットスケープナビゲーター専用のページを作れるか、どちらのWWWブラウザでも問題なく表示できるダイナミックHTMLは作れるか、作れるバリエーションは多いかを基準に3段階で評価。

HTML...カラーリングやインデントなど、見やすいHTMLを生成するか、改行処理などがHTML4.0に基づいて作れるか、HTMLタグを直接編集できる機能は付いているかを基準に3段階で評価。

画像加工...GIFアニメーションを作れるか、画像のサイズを変更できるか、ボタンやバナーを作れるかを基準に3段階で評価。

サイト管理...リンクチェック機能はあるか、自動更新機能はあるか、サイト管理機能がソフト本体に統合されているかを基準に3段階で評価。

Product Showcase

イチオシ

基本機能・最新機能ともに充実度ナンバーワン!

ホームページ・ビルダー 2000

基本的なホームページ作成機能が拮抗している各ソフトの中でも、半角カナチェック機能や画像選択時のサムネイル表示など、ホームページ・ビルダー2000の持っている機能は頭一つ抜け出ている。さらに、ドラッグアンドドロップで色の指定ができる「Webセーフカラーパレット」やウィンドウ内に固定するかフロート状態にするかを選べる「ツールパレット」など、細部まで気配りの行き届いたユーザーインターフェイスも優れている。

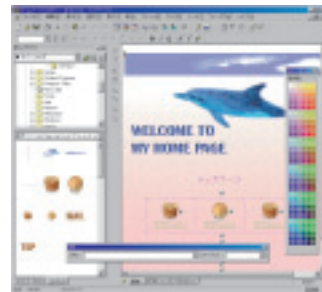
ダイナミックHTMLに関して高い機能を持っている。マクロメディアのDreamweaverほどの自由度はないが、そのぶん簡単に作成できるのがうれしい。ネットスケープナビゲーター4.0とインターネットエクスプローラ4.0以上の両方で動作するものが作成できる。ちょっとしたホームページのアクセント作りに最適だ。

本体の機能が充実していることもさることながら、同梱ソフトの豊富さも大きな魅力だ。写真の加工やバリエーション豊富なロゴ加工が楽しめる「ウェブアートデザイナー」と1枚の画像に効果を付けて簡単にアニメーションが作成できる「ウェブアニメーター」の2本のほか、FTPソフト「ファイル転送」も同梱されている。

メーカー名 : 日本アイ・ビー・エム(株)
対応OS : Win95/98/NT4.0
価格 : 14,800円
CD-ROM収録先 : CD[A] Hpeditor Hpb2000



ホームページ・ビルダー2000のソースは非常に綺麗な。綺麗なソースはHTMLの勉強になる。できあがったページのHTMLをチェックしてみるといいだろう。



「サイト」や「カラーパレット」などのウィンドウは、必要に応じて表示するか非表示にするか、固定するかフロート状態にするかの変更ができ、非常に使いやすい。

基本機能

ダイナミックHTML

HTML

画像加工

サイト管理



操作の簡単なロゴ作成ツールが便利

HOTALL Ver.5.0

HOTALLは、ホームページ・ビルダー2000と非常に近い性格のソフトだ。ソフト本体に簡単なロゴの編集機能を持っており、タイトルロゴやメニューボタンなどを作成できるのが特徴だ。

ホームページ・ビルダーが前バージョン(3.0)のときには、スタイルシート対応などの優位点があったが、最新のホームページ・ビルダー2000と比較すると、古いソフトという印象は否めない。また、簡単なロゴ加工機能はあるものの画像加工ソフトが入っていないのが残念なところだ。本格的に画像を扱う場合は別

基本機能

ダイナミックHTML なし

HTML

画像加工

サイト管理

にソフトを用意する必要がある。

サイトの管理やリンクチェック、ファイルのアップロードは、「ハイパーテキストマネージャ」という別のソフトで行う。このハイパーテキストマネージャは独自のデータベースを使用してホームページを構成するファイルの状態を常に監視していて、ファイルの移動やファイル名の変更が行われると自動的にHTMLファイル内の関連したリンクを修正してくれる。ウェブサイト全体のフォルダー構成を変更したり整理したりしたいときなどに非常に便利な機能だ。

サイト管理は一切不要という人には、CD-ROM内に「dBFTP」というごく普通のFTPソフト(サイト管理機能はない)も用意されている。

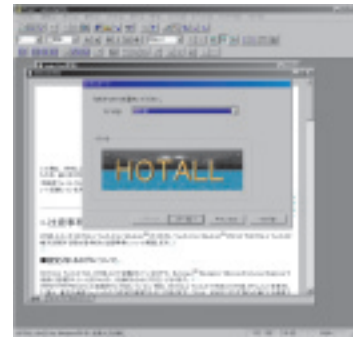
メーカー名 : デービーソフト㈱
対応OS : Win95/98/NT4.0
価格 : 9,800円



(優待キャンペーン版)
CD-ROM収録先 : CD[A] Hpeditor Hotall



生成されるソースは、<H1>タグの中に<DIV>タグがあるなど、気になる点がある。



その場で簡単にロゴを作成する「3Dサインボード」は重要する。

画像の作成用に「Photoshop LE-J」が付属

Adobe PageMill 3.0 日本語版

デザイナー御用達のブランドといえば、アドビとマクロメディアだ。だが両者のホームページ作成ソフトに関する商品戦略は大きく異なる。プロのデザイナー向けと位置付けた高価格・高性能なマクロメディアのDreamweaverに対して、アドビのPageMillはその逆を狙う。低価格で個人ホームページ向け。そして、性能は必要最低限のものを備えている。

アドビらしく画像の作成用に「Photoshop LE-J」が付属している。これは、ウィンドウズ版はバージョン3.0、マック版はバージョン

基本機能

ダイナミックHTML なし

HTML

画像加工

サイト管理

4.0の軽量化で、透過GIFやインターレースGIFも作成可能だ。デジタルカメラで撮影した写真のレタッチなどには威力を発揮するだろう。しかし、ウィンドウズ版のバージョン3.0では写真の上に文字を載せたり、画像と文字を組み合わせでタイトルロゴを作成したりする場合に便利な「レイヤー機能」が削除されているのが残念だ。ソフト本体では、前バージョンでは別々だったサイト管理ソフト「Site Mill」を統合した。スタイルシートやダイナミックHTMLは使えないものの、それ以外の機能は不満のない出来だ。

CD-ROM内には、クリップアートをはじめJava アプレットやJavaScript、ショックウェーブムービーなど、大量の素材が収録されている。

メーカー名 : アドビシステムズ㈱
対応OS : Win95/98/NT4.0、Mac
価格 : 12,800円



CD-ROM収録先 : CD[A] Hpeditor PageMill (Win版)



空行が<P> ~</P>に変換されてしまっている。ソース編集で終了タグを消してしまうなどのミスをする、うまくリカバーされない。

インターフェイスは非常にシンプルで使いやすい。





Java開発ソフト「VisualCafe」とセットで買うとお得

Symantec VISUAL PAGE 2.0 日本語版

VISUAL PAGEは非常に高い基本機能を持っているソフトだ。HTMLのソースは美しく、スタイルシートも使える。加えて、英語版だがアニメーションGIFも作成できるグラフィックソフト「WebPainter Special Edition」やホームページのテンプレート、12,000点を超えるバナーやボタン、背景画像などの素材集が付属している。

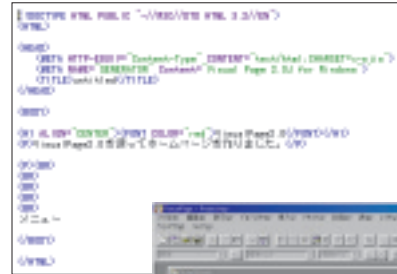
スタイルシートを使ったページは「スタイルスタジオ」と「簡単レイアウト」という機能を使って簡単に作ることができる。使いたい

フォントや文字の大きさ、配置したい場所を指定するだけで。付属の「カスケードリングスタイルシート テンプレート」を組み合わせて使えば、より簡単にスタイルシートを使ったページが作れる。

また、VISUAL PAGEは同社のJava開発ソフト「VisualCafe」に同梱されている。「プロフェッショナル版」(標準価格45,000円)以上のVisualCafeには、VISUAL PAGEの製品版が入っているので、Javaに興味があるユーザーにはVisual Cafeを購入してしまうという選択肢もある。

VISUAL PAGEでサイト管理機能を利用するには、「プロジェクト」と呼ばれるものを最初に作る必要がある。これは、ほかのソフトで言うところの「サイト」であり、用語は独特だが特別変わったものではない。

メーカー名 : 聯シマンテック
対応OS : Win95/98/NT4.0
価格 : 16,800円



生成されるソースはかなり綺麗。DOCTYPE宣言までされるのが特徴。



「プロジェクト」のウィンドウがいわゆるサイト管理ウィンドウ。リンクのチェックやファイルのアップロードを行う。

機能は少ないがサクサクとホームページが作れる

こざいく パーソナル Ver.3.0

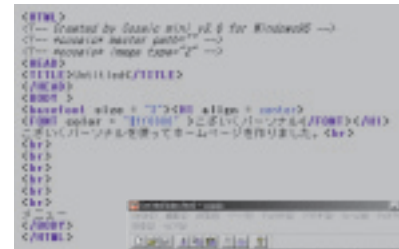
ホームページが広まりました1994年ごろに主流だったWWWブラウザの名前が「Mosaic」。それをもじってネーミングされたのが、この「こざいく」だ。今となってはちょっと解説があるほどのなつかしいネーミングになってしまった。そして、ソフトが持っている機能もかなり古い。

こざいくは、ページを編集する本体とファイル管理用の「ファイルウィンドウ」で構成される。本体はWWWブラウザをかなり意識した作りだ。ファイルウィンドウでは貼り込む画

像をサムネイル表示したり、ドラッグアンドドロップで貼り込んだりという操作ができるが、サイト管理ソフト的な機能は持っていない。こざいく独自のアイコンが並んでいるが、ヘルプがなく、直感的な作業をやりづらいのも気になる所だ。

本体のHTML作成機能では、段落やテーブルなどの「ブロック」ごとにドラッグして位置を動かせる。ブロックレベル要素ごとに管理されているという意味では、非常に分かりやすい構造だといえる。HTMLのソースをいじる気はまったくなく、とにかくサクサクとホームページを作りたいという人には悪くない選択だろう。

メーカー名 : 聯ソフトフロント
対応OS : Win95/98/NT4.0, Mac
価格 : 12,800円



生成されるソースは綺麗な。



メインの編集画面とファイルウィンドウ。ドラッグアンドドロップで画像の貼り込みなどができる。

基本機能	
ダイナミックHTML	なし
HTML	
画像加工	
サイト管理	



イントラネット派はここをチェック!

イントラネットで使うページを作るなら、スタイルシートやダイナミックHTMLのような派手な機能にこだわる必要はない。それよりも、作業の効率化が図れるような機能や、社内の情報を有効に利用できたり掲示板などを簡単に組み込めたりする機能に注目して製品を選ぼう。

ビジネスアプリケーションとの連携をチェック

社内文書に使っているワープロソフトやスプレッドシートがそのままHTMLに変換できるソフトがあれば作業の効率化は飛躍的に進む。また、ODBC(Open Database Connectivity)対応で多数のデータベースソフトと連携できるソフトもあれば、特定のデータベースにしか対応していない代わりに操作性の高いものもある。自社の環境を考えて製品を選ぼう。

WWWサーバーとの連携をチェック

データベースとの連携機能やCGIなど、サーバーに特殊なプログラムをインストールしなければ利用できない機能を使うのは一般のユ

ーザー向けのプロバイダーでは難しい。自前でサーバーを持っている環境でこそ真価を発揮する機能だ。使用するホームページ作成ソフトによって対応しているWWWサーバーが異なるので、事前によく調査して自社の環境で性能を発揮できるものを選ぼう。

サイト管理機能をチェック

個人ホームページの規模ならともかく、企業のホームページでは、HTMLファイルだけでも何百から何千という規模になるケースが考えられる。サイトを効率よく管理するためには高性能なサイト管理機能を持ったソフトを選びたい。また、何人かが分担して作業する場合や担当者が替わってしまった場合でも、優秀なサイト管理機能を持ったソフトがあれば大きな混乱もなく対応できるだろう。

評価基準

基本機能...FTP機能はあるか、テンプレートは付属しているか、ウィザードでページが作れるかを基準に3段階で評価。

共同作業...ファイルのバージョン管理はできるか、WWWサーバー上のファイルを直接編集できるか、ファイルごと書き込み禁止などの指定ができるかを基準に3段階で評価。

サイト管理...リンクチェック機能はあるか、自動更新機能はあるか、サイト管理機能がソフト本体に統合されているかを基準に3段階で評価。

データベース連携...手軽さと機能の豊富さを基準にそれぞれ3段階で評価。

付属の素材集をチェック

今回紹介するソフトの中には、あらかじめイントラネットのページに利用できるようにテンプレートなどの素材集が付属しているものがある。作業の効率化のためにも素材集の充実度をチェックしよう。

イチオシ

独自のミニアプリケーションを開発できる

NetObjects FUSION 3.0 日本語版

メーカー名 : 三菱商事株式会社
 対応OS : Win95/98/NT4.0
 価格 : オープン価格
 CD-ROM収録先 : CD[A] Hpeditor Fusion



NetObjects FUSIONは、サイト全体をトータルで管理する機能が非常に充実している。編集時のファイルはHTMLファイルではなくオリジナルの形式で保存されていて、「発行」を行うことによって初めてHTMLファイルに展開される。ページの編集もHTMLの存在をまったく意識させないもので、グリッドを張った画面などはDTPソフトのような雰囲気だ。

生成するHTMLは発行時にネットスケープナビゲーター2.0以降とインターネットエクスプローラ2.0以降の幅広い閲覧環境を考慮した

「標準形式」、ネットスケープナビゲーター4.0以降とインターネットエクスプローラ4.0以降を対象としてダイナミックHTMLも取り入れた「DHTML形式」などから選べる。ソースの細かい部分にはこだわらず、WWWブラウザのバージョンに合わせてソースを生成するわけだ。

このソフトの大きな特徴は「NetObjects FUSION コンポーネント」というミニアプリケーションをページに組み込める点だ。このコンポーネントは自分で作成することもできるほか、「Message Board」(掲示板)や「DynaButtons」(マウスカーソルの動きに合わせて動くボタン)などの基本的なコンポーネントは最初から用意されている。また、ホームページからもダウンロードできる。



生成されるHTMLソースは、発行時の設定によって変化する。

サイトのツリー構造やファイル一覧など、さまざまなビューモードがある。

基本機能

共同作業

サイト管理

データベース連携(手軽さ)

(機能の豊富さ)



ファイルメーカーProと連携できる

FileMaker クイックイントラネット

データベースソフト「ファイルメーカーPro 4.1」とホームページ作成ソフト「ホームページPro 3.0」がセットになったパッケージだ。データベースからの検索やデータベースへの登録といった機能を持つページを簡単に作成できるのがこのクイックイントラネットだ。ファイルメーカーProの「インスタントWeb」機能を使うとファイルメーカーProが稼働するコンピュータがそのままWWWサーバーになる。別途WWWサーバーを用意する必要がないのだ。

ホームページProの基本機能は、アドビのPageMillとほぼ同レベル。ダイナミックHTML

基本機能
共同作業
サイト管理
データベース連携(手軽さ)
(機能の豊富さ)

やスタイルシートの機能はなく、HTMLのエンコードで空行が<P> ~</P>で処理されるなど少々不満がある。グラフィカルなサイト管理機能を持っていない点と、ファイルメーカーProとの強力な連携機能を持っている点がPage Millと大きく異なる。

ファイルメーカーProとの連携には「ファイルメーカーPro アシスタント」というウィザードを使う。すでに存在するデータベースを参照し、検索・編集などの用途や使用する項目などを設定していくことで新規サイトの雛形が作成できる。また、データベースとの連携には「CDML」という言語を利用するが、その知識がなくても簡単にページを作ってくれる。さらに細かい機能については「リファレンスライブラリ」や「フォームライブラリ」を使って機能を挿入していく。ライブラリにはヘルプが付いていて使いやすさへの配慮が行き届いている。

「ファイルメーカーProアシスタント」で、データベースと連携したサイトを簡単に作成できる。

Officeファミリーと連携できる

Microsoft FrontPage 98

マイクロソフトオフィスファミリーの一員であるFrontPage 98は、もちろんエクセルやワード、パワーポイントなどのオフィスファミリーとの相性がよく、ドキュメントの貼り込みやリンクなどの連携が容易になっている。

ダイナミックHTMLによるアニメーション(ネットスケープナビゲーター 4.0には非対応)、スタイルシート、アクティブチャンネルなどの最新機能に対応しているほか、「アクティブコンテンツ」というパーツ群も用意されている。実はJavaによるアニメやマーキー(インターネット

基本機能
共同作業
サイト管理
データベース連携(手軽さ)
(機能の豊富さ)

トエクスプローラの独自HTML、CGIなどで、利用するためにはサーバーに「FrontPage Extensions」という特殊なプログラムをインストールしなければならない機能もある。

また、アクセスやエクセル、ODBCに対応したデータベースとの連携も可能だ。FrontPage 98でデータベースと連携したサイトを作成して発行するためには、「Active Server Pages」に対応したマイクロソフトのIISなどのWWWサーバーが必要になる。社内にウィンドウズNTが導入されていれば、すぐにFrontPage 98で作ったコンテンツが使えるのだ。しかし、逆に言えば、IISとウィンドウズNTの組み合わせでしかFrontPage 98で作成したコンテンツの機能を生かせないというデメリットでもある。

「テーマ」は、ページ全体のデザインを一括して変更する機能だ。

メーカー名 : ファイルメーカー 関
 対応OS : Win95/98/NT4.0, Mac
 価格 : 66,000円

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>
<META NAME="GENERATOR" CONTENT="Microsoft FrontPage 98.0" />
<META NAME="DESCRIPTION" CONTENT="Microsoft FrontPage 98.0" />
<META NAME="KEYWORDS" CONTENT="Microsoft FrontPage 98.0" />
</HEAD>
<BODY>
<P>
</P>
</BODY>
</HTML>

```

空行が<P> ~</P>で処理されるなど、HTMLのエンコードはいまひとつ。ソース編集でミスしてしまったときのリカバーにも不安がある。



メーカー名 : マイクロソフト 関
 対応OS : Win95/98/NT4.0
 価格 : 19,800円

```

<html>
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=shift_jis">
<title></title>
<meta name="Microsoft-Theme" content="frontpage98, default">
<meta name="Microsoft-Base" content="http://www.microsoft.com/frontpage98">
</head>
<body>
<div style="text-align:center">
<img alt="FrontPage 98 logo" />
</div>
</body>
</html>

```

生成されるソースは綺麗だが、空行の処理が<P> ~</P>なのが気になる。



Product Showcase



ローカルマシン感覚でサーバーの管理ができる

WebAssistant/Publisher 3.0

WebAssistant/Publisher は、ほかのソフトとは違う理由で「イントラネット派向け」に分類されている。データベースとの連携機能などは持っていないが、このソフトの最大の売りはファイル管理ソフト「WebAssistant Manager」のサーバー用プログラムを使うことで、ほとんどローカルマシンと同じ感覚で自社WWWサーバーのファイル管理が行える点だ。これによってほかのソフトのようにFTPを利用した「作成 発行」という過程を踏まず、常にWWWサーバーのファイルを直接編集することが可

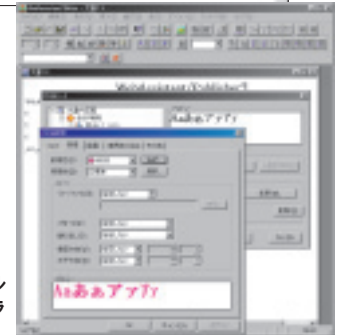
能になっている。自社サーバーではなく一般向けのプロバイダーを利用しているユーザー向けには、Managerのサーバー用プログラムを除いた「WebAssistant/Easy Auther」(16,800円)が用意されている。こちらはFTPでWWWサーバーにファイルをアップロードすることになる。

ホームページを編集するソフトは、どちらも「WebAssistant Editor」で共通している。このソフトはスタイルシートの編集ダイアログに大きな特徴がある。フォントスタイルや色など、設定したスタイルのプレビューをその場で見られるのだ。これによってスタイルシートを初めて使うユーザーでも積極的に利用できるようになっている。

メーカー名 : 朝東芝
対応OS : Win95/98/NT4.0
価格 : 36,800円
CD-ROM収録先 : CD[A] Hpeditor Webassis



ソース編集画面にすると画面が縦に2分割されるのが独特。ノートパソコンなどの狭い画面では不便だ。



設定のプレビューがあるスタイルシート編集ダイアログは、このクラスではピカイチの使いやすさだ。

基本機能	
共同作業	
サイト管理	
データベース連携(手軽さ)	なし
(機能の豊富さ)	なし

まもなく登場！ Microsoft FrontPage 2000

1999年の第2四半期に、マイクロソフトOfficeの最新バージョン「Office 2000」が発売される。FrontPage 98はOffice 98ファミリーの一員ながら別のパッケージとなっているが、「2000」ではWordやExcelなどと同じパッケージに含まれる。

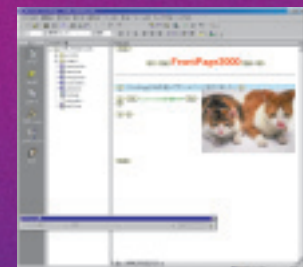
Office 2000の各ソフトでは、ドキュメントをHTMLファイルとして保存して直接WWWサーバーに発行できるほか、IE5.0の「編集」ボタンから元のソフト立ち上げて再編集することも可能になるなど、ファミリーの全ソフトでイントラネット向けの機能が強化されている。

このようにほかのソフトからもHTMLが作れるとはいえ、FrontPage 2000がホームページ作成の中心になるソフトとして重要な位置にあることに変わりはない。ほかのソフトが生成するHTMLには無駄が多いし、強力なサイト管

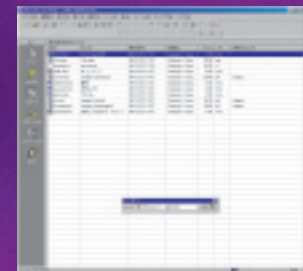
理機能が必要だ。

FrontPage 98では、サイト管理ソフト「FrontPage Explorer」と、HTML編集ソフト「FrontPage Editor」の2つのソフトで構成されているが、FrontPage 2000では1つに統合された。これによってウィンドウの左側がファイル一覧などの簡単なサイト管理情報画面、右がページ編集やサイトの詳細情報などのメイン画面というスタイルになった。

サイト管理機能では「レポート」という機能が追加され、最近更新されたファイル、追加されていないファイル、どこからもリンクされていない孤立したファイルなどを一覧表示できる。このときの表示には最終的にファイルに触った「更新者」も見ることができ、とくにイントラネットでのファイル管理において頼りになるだろう。



ページ編集画面。WYSIWYGの編集画面にタグを表示させる機能や「DHTML効果」のフローティングパレットが目新しい。



「レポート」画面では、サイトの状態をさまざまな条件で見ることができる。



デザイン重視派はここをチェック!

実際に業務で使用するプロのデザイナーから「自称」デザイナーまで、デザイン重視派のソフト選びはいかに思いどおりのページデザインに仕上がるかにこだわろう。もちろん、ダイナミックHTMLやスタイルシートの自由度は要チェックだ。

デザインの自由度をチェック

デザイン重視派にとってスタイルシートとダイナミックHTMLは非常に重要だ。スタイルシートの登場によってフォントのサイズや行間などを自由に設定でき、本当に「ワープロ感覚」で、デザイナーらしく言い換えれば「DTP感覚」で自分の思いどおりのページを作れるようになった。また、ダイナミックHTMLの登場によって静的だったページに動的な要素を組み込めるようになった。デザインを重視するユーザーなら、できるだけこの2つの機能の自由度が高い製品を選ぼう。

生成されるHTMLソースをチェック

デザインにこだわるなら最終的にはテキストエディターで仕上げられるように、HTMLを書き換えるといった余計なことをせず、きれいな

なソースを作ってくれることも重要だ。また、WWWブラウザごとのHTMLの互換性なども無視できないため、各ソフトの生成するHTMLなどもチェックしておきたい。

使い勝手をチェック

個人ホームページ向けのホームページ作成ソフトの多くはワープロのインターフェイスを真似ているものが多く、直感的に作業しやすい。それに対してデザイン重視派のホームページ作成ソフトは、DTPソフトやアニメーション作成ソフト、フォトタッチソフトなどのインターフェイスを取り入れているものが多く、操作は複雑になりがちだ。もちろん、ユーザーの中には以前から使っているDTPソフトなどと操作が似ているため逆に使いやすいと感じる人もいるかもしれない。それぞれの製品の使い勝手や特徴を把握して気に入ったものを選ぼう。

評価基準

基本機能...ドラッグアンドドロップで文書や画像を配置できるか、画像編集機能はあるか、FTP機能はあるか、素材集は付属しているかを基準に3段階で評価。

ダイナミックHTML...インターネットエクスプローラとネットスケープナビゲーターの区別はできるか、どちらでも使えるダイナミックHTMLは作れるか、作れるバリエーションは多いかを基準に3段階で評価。

スタイルシート...絶対位置指定はできるか、リンクドスタイルシートに対応しているか、インターネットエクスプローラとネットスケープナビゲーターの区別はできるかを基準に3段階で評価。

画像加工...GIFアニメーションを作れるか、画像のサイズを変更できるか、ボタンやバナーを作れるかを基準に3段階で評価。

サイト管理...リンクチェック機能はあるか、自動更新機能はあるか、サイト管理機能がソフト本体に統合されているかを基準に3段階で評価。

Product Showcase

イチオシ

ホームページをDTPソフトのように「オーサリング」できる

Macromedia Dreamweaver 2 日本語版

Dreamweaverには、ダイナミックHTMLのイベントを仕掛ける「ビヘビビア」やダイナミックHTMLのアニメーションを管理する「タイムライン」などマクロメディアらしい独特のインターフェイスがメインのツールパレットに並んでいる。ホームページ作成ソフトなのに、まるでマルチメディアタイトルの編集ソフトのような雰囲気だ。

そんな期待を裏切らず、ダイナミックHTMLの編集機能は優れている。Javaスクリプトの知識がなくてもあらかじめ用意されている「ビ

ヘビビア」を組み合わせるだけで、マウスカーソルに反応して動くボタンなどが簡単に作れるほか、ネットスケープナビゲーターとインターネットエクスプローラのバージョン3.0から4.0まで、対象となるWWWブラウザを指定することで確実に動くダイナミックHTMLを作ることができる。

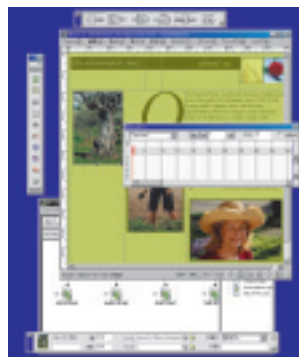
また、JavaScriptを使ってXMLや独自仕様のHTMLなどを生成できるようにDreamweaverを拡張できるのも特徴だ。

HTMLの生成についても、非常に細かい配慮が見える。生成するソースのインデント量や大文字と小文字の指定など、細かいカスタマイズができ、テキストエディターと併用したい人にとっても嬉しい。

メーカー名 : マクロメディア 株
対応OS : Win95/98/NT4.0、Mac
価格 : 39,800円

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE> 簡易ホームページ</TITLE>
<META HTTP-EQUIV="Content-Type" CONTENT="text/html; charset=shift_jis">
</HEAD>
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
<H1 ALIGN="CENTER" FONT-SIZE="24" COLOR="#FF0000">Macromedia</H1>
<P></P>
<P></P>
<P></P>
</BODY>
</HTML>
```

空行の処理が<P>~</P>となるのが気になるが、生成されるソースは綺麗だ。



フローティングパレットで構成されたユーザーインターフェイスには独特のキーワードも載っている。

基本機能

ダイナミックHTML

スタイルシート

サイト管理



イチオシ

限りなくDTPソフトに近いホームページ作成ソフト

GoLive CyberStudio 3.0

ホームページのデザインと紙のデザイン(DTP)には当然ながら違いがあり、そのためDTPソフトとホームページ作成ソフトの使い勝手は大きく違うのが普通だ。しかし、このCyberStudioは、DTPソフトの操作感覚にかなり近いソフトだ。

レイアウトを決める、文字や画像、動画を貼り込む、細かい属性を決めるといった操作がスタイルシートを使って細かく、まさにDTPソフトのように設定できる。また、素材を配置する作業はすべてドラッグアンドドロップで行える。もちろんダイナミックHTMLに対応して

基本機能

ダイナミックHTML

スタイルシート

サイト管理

いてインタラクティブなホームページを作ること可能だ。

CyberStudioの機能の中でも特に特徴的なのが「レイアウトグリッド」だ。編集画面に方眼紙のようなグリッドが表示されてドット単位の細かいレイアウトの指定ができる機能だが、これを使って作成されたページは、<TABLE>タグを使った複雑で非常に長いHTMLとしてコーディングされる。この独特のHTMLが気になるなら「フローティングボックス」と呼ばれるスタイルシートを使った機能を利用してレイアウトグリッドと同様の効果を得ることができる。この両方の機能を使い分ければ、WWWブラウザのバージョンを気にすることなく自分の思いどおりのデザインでホームページを作れるのだ。

メーカー名 : 聯ソフトウェア・トゥー
対応OS : Mac
価格 : オープン価格



レイアウトグリッドを使って作成したページのソース。テーブルを使って細かくレイアウトされている。



こちらはレイアウトグリッドを使わずに作った場合のシンプルなソース。

ホームページ用画像作成ソフトや素材集を活用しよう!

ホームページの表現力を高めるために欠かせないのが画像だ。パッケージにすべてが同梱されているソフトのユーザーも、できれば別に高性能なグラフィックソフトや充実した素材集を購入したい。

グラフィックソフトは、Fireworks(マクロメディア: 39,800円)やPhotoshopとImageReady(アドビ: 155,000円と39,800円)などがプロのデザイナー向け。ImageStyler(アドビ: 23,800円)とPhotoImpact(U-lead: 19,800円)などが個人ホームページユーザー向けで有名だ。

グラフィックソフトを同梱しているホームページ作成ソフトを買ったなら、個人ホームページユーザー向けの製品を買う必要はあまりない。プロのデザイナー向けの高性能なソフトを入手できれば、ホームページでの表現の幅がぐっと

広がるだろう。

そのほか、アニメーションを作れるFlash(マクロメディア: 39,800円)や手描き風のいっぴう変わった絵が書けるPainter(メディアヴィジョン: 58,000円)なども、ホームページの表現力がさらに増すだろう。

素材集は、さまざまな画風のクリップアートが収録され、いつでも貼り込めるものやテキストや写真などがメインとなっていて、そこからユーザーが加工するものなど、さまざまなバリエーションがある。

画像に限らず、サウンドファイルやFlashムービーなどの素材集も多く発売されているので、興味のあるユーザーはそれらを使うのもよいだろう。そのまま貼り込むだけでなく、自作するときのヒントとして、仮組み用のサンプルとしても役立つだろう。



Flashムービーを含む4,000点以上の素材やホームページのテンプレートを収録した素材集「WEB ART ENGINE(アスキー: 8,500円)」。



インプレス刊「ホームページマガジン」では、季節や特集の内容に合わせた素材を毎月約1,000点収録している。




最新ホームページ作成ソフト機能一覧表

製品名		ホームページ・ビルダー 2000	HOTALL Ver.5.0	Adobe PageMill 3.0 日本語版	Symantec VISUAL PAGE 2.0 日本語版	ございくパーソナル Ver.3.0
						
メーカー		日本アイ・ビー・エム	デービーソフト	アドビシステムズ	シマンテック	ソフトフロント
問い合わせ先		0120-04-1992	011-807-6700	03-5423-1860	03-3476-1156	011-736-8330
URL		http://www.ibm.co.jp/software/internet/hpb/	http://www.db-soft.co.jp/	http://www.adobe.co.jp/product/pagemill/	http://itools.symantec.co.jp/	http://www.softfront.co.jp/cosaicp/
標準価格		14,800円	9,800円(優待キャンペーン版)	12,800円	16,800円	12,800円
実勢価格		約11,100円	約13,350円	約8,900円	約12,600円	-
Windows	対応OS	Win95/98/NT4.0	Win95/98/NT4.0	Win95/98/NT4.0	Win95/98/NT4.0	Win95/98/NT3.51以上
	CPU	Pentium以上	Pentium100MHz以上	Intel486、Pentium	上記OSの動作する環境	上記OSの動作する環境
	メモリー	16MB(32MB以上推奨)	16MB以上	16MB以上	上記OSの動作する環境	16MB以上
	ハードディスク	120MB(標準)	20MB以上	20MB以上	25MB以上	50MB以上
Macintosh	対応OS	-	-	漢字Talk7.5.5以降	-	漢字Talk7.5以上
	CPU	-	-	PowerPC	-	上記OSの動作する環境
	メモリー	-	-	8MB以上	-	4MB以上
	ハードディスク	-	-	23MB以上	-	50MB以上
HTML編集	ソース編集					x
	ソース自動修正					x
	イメージマップ編集					
	IMGタグのWIDTH、HEIGHT、ALT	WIDTH、HEIGHT、ALT	ALT	WIDTH、HEIGHT	WIDTH、HEIGHT	ALT
	Webセーフカラーパレット		x		x	x
動的HTML	スク립ト		x	x	x	x
	スタイルシート			x		x
チャンネル作成	Netcaster		x	x	x	x
	ActiveChannel		x	x	x	x
サイト管理	リンク状況の視覚的管理		(外部ソフト)			
	リンクのチェック		(外部ソフト)			
	リンク自動更新・修復		(外部ソフト)			x
	アップロード		(外部ソフト)			
	更新分のみアップロード		x			
画像編集(本体)	対応画像形式(GIF、JPEG以外)	PNG、BMP、TIF、FPX、PCD、MIF 1、DCM 2	BMP	BMP、DIB	BMP、DIV	BMP、PICT、PCD、FPX
	貼り込み画像の拡大・縮小					
	ロゴ加工機能			x	x	x
収録素材	画像	約2000点	約3000点		約12000点	約1000点
	テンプレート	50点	60点		20点	17点
	その他	アンケート、伝言板のCGIスクリプト	なし	合わせて15000点以上	なし	なし
付属ソフト	画像加工		x			-
	アニメーションGIF作成			-		-
	FTP					-
	その他	デジカメの達人体験版、ホームページプリント体験版など	イメージパレット(画像ビューア)ハイパーテキストマネージャ(サイト管理・FTP)	Acrobat Reader、Photoshop LE、Internet Explorer、Netscape Navigator		POSTINO classic/ 電信八号(メール) Sidescape(自動巡回)など

1 MIF : ウェブアートデザイナー専用の形式
 2 DCM : デジカメの達人専用の形式
 実売価格は1998年12月21日現在のものです。
 各項目は変更になることがありますので、購入の際にご確認ください。

Product Showcase



NetObjects FUSION 3.0 日本語版	FileMaker クイックイントラネット ³	Microsoft FrontPage 98	Web Assistant/ Publisher 3.0	Macromedia Dreamweaver 2 日本語版	GoLive CiverStudio 3.0	製品名
						
三菱商事 03-5684-2255	ファイルメーカー 03-5210-9022(FAX)	マイクロソフト 03-5454-2300	東芝 03-3457-2725	マクロメディア 03-5351-8652(アスキー) 052-792-5264(システムソフト)	ソフトウェア・トゥー 03-5676-2177	メーカー 問い合わせ先
http://b-factory.com/jp/ NetObjects/	http://www.filemaker.co.jp/ html/products/datasheet/intra/	http://www.microsoft.com/ japan/office/frontpage/	http://eiplaza.toshiba.co.jp/ products/webassistant/	http://www.macromedia.com/ jp/software/dreamweaver/	http://www.swtoo.com/ Golive_cs/	URL
オープンプライス 約34,000円	66,000円 -	オープンプライス 約19,800円	36,800円 -	39,800円 -	56,800円 -	標準価格 実勢価格
Win95/98/NT4.0以上	FM Pro : Win95/98/NT HP Pro : Win95/98/NT	Win95/98/NT4.0	Win95/98/NT3.51/NT4.0	Win95/98/NT4.0	-	対応OS Windows
Pentium 90MHz以上	FM Pro : i486SX以上 HP Pro : Pentium以上	i486DX-66MHz以上 (Pentium以上推奨)	i486DX(DX4以上推奨)	Pentium 90MHz以上	-	CPU
32MB以上	FM Pro : 12MB以上(95) 16MB以上(98/NT) HP Pro : 8MB以上(95) 16MB以上(98/NT)	16MB(24MB以上推奨) (95) 32MB(40MB以上 推奨)(NT)	16MB以上	32MB以上	-	メモリー
20MB(コンパクト) 80MB(標準)	FM Pro : 50MB以上 HP Pro : 35MB以上	40MB以上	6MB以上	20MB以上	-	ハードディスク
-	FM Pro : 漢字Talk7.1以上 HP Pro : 漢字Talk7.5以上	-	-	漢字Talk7.6以上	MacOS8.0以上	対応OS Macintosh
-	FM Pro : 68030以上 HP Pro : 68040以上	-	-	PowerPC	PowerPC	CPU
-	FM Pro : 8MB以上 (仮想メモリー非使用時) HP Pro : 16MB以上 (仮想メモリー非使用時)	-	-	24MB以上	25MB以上 (30MBを推奨)	メモリー
-	FM Pro : 50MB HP Pro : 45MB	-	-	20MB以上	25MB以上	ハードディスク
(外部エディター)						ソース編集 HTML編集
x					(チェッカー搭載)	ソース自動修正
						イメージマップ編集
WIDTH, HEIGHT, ALT	WIDTH, HEIGHT	WIDTH, HEIGHT, ALT	WIDTH, HEIGHT, ALT	WIDTH, HEIGHT, ALT	WIDTH, HEIGHT, ALT	IMGタグの WIDTH, HEIGHT, ALT
		x	x			Webセーフカラーパレット
			x		(英語以外にも対応)	英文スペルチェック
			x			スクリプト ダイナミックHTML
						スタイルシート
x	x	x	x	x	x	Netcaster チャンネル作成
x			x	x	x	ActiveChannel
	x					リンク状況の視覚的管理 サイト管理
						リンクのチェック
						リンク自動更新・修復
						アップロード
			x	x		更新分のみアップロード
PNG, PCX, BMP, PICT, FFX	BMP, TIFF, PICT QuickTimeなど	-	BMP	PNG	PNG	対応画像形式 (GIF, JPEG以外) 画像編集(本体)
						貼り込み画像の 拡大・縮小
x	x			x	x	ロゴ加工機能
約150点	約2700点	約1000点	約300点	なし	なし	画像 収録素材
21点	7点	テーマ機能搭載	なし		16点	テンプレート
「ディッカーテープ」 「サイトマップ」などの コンポーネント9点	QuickTimeムービー、 Javaアプレット、 ショックウェーブ	なし	なし	機能拡張オブジェクト	なし	その他
-	-		x	x	x	画像加工
-	-		x		x	アニメーションGIF作成
					x	FTP
なし	AcrobatReader、 Flash2.1Jトライアル版	パーソナルWebサーバー	Manager、AutoTagger (テキストtoHTML変換) ImageViewerなど	Flash3J30日間限定版	TypeDesigner (ロゴデザイン)、 Acrobat Reader	その他

3 FileMakerクイックイントラネットは1999年3月末までの限定商品です。また、パッケージにはファイルメーカーPro 4.1 クイックイントラネット用アップグレードCD-ROMが付属しています。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp